

令和8（2026）年度

農学生命科学部 第3年次編入学  
学生募集要項



■編入学試験日程表

募集人員	事項	日時
若干名	出願期間	令和7年6月30日(月)～7月4日(金)
	試験実施日時	令和7年8月19日(火)
	合格者発表	令和7年8月27日(水) 午前10時(予定)

弘 前 大 学  
HIROSAKI UNIVERSITY

# 目 次

## 令和8年度 農学生命科学部第3年次編入学学生募集要項

### ■ 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

1. 募 集 人 員	1
2. 編入学の時期及び編入学年次	1
3. 出 願 手 続	1
(1) 出 願 資 格	1
(2) 出 願 期 間	1
(3) 出願書類等の提出先	1
(4) 出 願 書 類 等	2
4. 選 考 方 法 等	2
5. 合 格 者 の 発 表	3
6. その他の注意事項	3
7. 個人情報の取扱いについて	3
8. 農学生命科学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
9. 入 学 者 案 内	6
(1) 入 学 手 続	6
(2) 入学料及び授業料の減免について	6
(3) 日本学生支援機構奨学金（貸与）	7
(4) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）	7
(5) 学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間	7

### 添 付 書 類 等

- ・ (No.1) 編入学志願票
- ・ (No.2) 「振替払込受付証明書(大学提出用)」貼付台紙・写真票・受験票
- ・ (No.3) 編入学願
- ・ (No.4) 払込取扱票
- ・ (No.5) 受験票送付用封筒
- ・ (No.6) あて名票

# 弘前大学における三つの方針（ポリシー）

## 1. 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学は、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めています。

- － 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- － 自立した個人として、または多様な人々と協働して、国際社会や地域社会に参画していかうとする行動力
- － 生涯にわたって知的好奇心を持ち続け、知的・人格的に成長していかうとする意欲

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

### ■解説：入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

弘前大学の入学者受入れの方針の「学力」「行動力」「意欲」といったキーワードには、入学時に学生が身に付けておくべき力と卒業時に学生が身に付けておくべき力の2つが含まれています。その理由は、大学教育を効果的に実践し、学生を主体的で能動的な知的探究者として社会に送り出していくためには、学生が入学前に身に付けて来た学力の芽を大きく育て、花開かせることが重要だと考えているからです。

学生が入学時に身に付けておくべき力とは、「学力の3要素」です。学力の3要素は、初等中等教育において身に付けるべき学力です。その内容は、①基礎的な知識・技能、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、となっています。

また、卒業時に学生が身に付けるべき力とは、弘前大学の「卒業認定・学位授与の方針」や「教育課程編成・実施の方針」で掲げている「見通す力」「解決していく力」「学び続ける力」です。詳細は本学ホームページの該当部分を読んでみてください。

「学力」「行動力」「意欲」には、弘前大学の教育目的が内包されているため、「学力」「行動力」「意欲」は「学力の3要素」と完全一致してはおりません。ただし、教育理念の点で、両者は一致しています。よって、弘前大学の入学者選抜では、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

実際の入試の内容や方法は、学部や学科、あるいは入試形態によって異なります。詳細は各学部の入学者受入れの方針、入学者選抜要項・募集要項を確認してください。

## 2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をとおして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

(1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。

－見通す力

学生に人類の叡智たる諸学問の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した省察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。

－解決していく力

学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるよう導いていきます。

(2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。

－見通す力

学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。

－解決していく力

学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をとおして培います。

(3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。

－学び続ける力

卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を送るとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

## 3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってこそ力を発揮できる主体的・能動的な探究者を育み、高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- － 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- － 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- － 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

\*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページでご覧いただけます。 <https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/policy.html>

# 令和8年度 農学生命科学部第3年次編入学学生募集要項

## 1. 募 集 人 員

学 科	履修コース	募 集 人 員
生 物 学 科	基礎生物学, 生態環境 (注1)	若 干 名
分子生命科学科	生命科学, 応用生命 (注2)	若 干 名
食 料 資 源 学 科	食料バイオテクノロジー, 食品科学, 食料生産環境 (注2)	若 干 名
国際園芸農学科	園芸農学, 食農経済 (注3)	若 干 名
地 域 環 境 工 学 科	農山村環境 (注4)	若 干 名
	農業土木〔日本技術者教育認定機構(JABEE)認定〕	募集せず

(注1) 生物学科では、出願の際に履修コースを選択して出願してください。なお、面接の際に希望分野を聴取しますので、「基礎生物学コースの分野：発生・生殖生物学, 動物生理・分子進化学, 植物分子生理学, 植物細胞生物学, 植物生理学, 分子発生学；生態環境コースの分野：生態学・保全生態学, 森林生態学, 進化生態学, 動物生態学, 生物間相互作用学, 環境生態学」の中から分野を選んで面接に臨んでください。

(注2) 分子生命科学科, 食料資源学科では、3年次編入学後に履修コースを選択するため、出願の際には履修コースを選択する必要はありません。

(注3) 国際園芸農学科では、出願の際に履修コースを選択して出願してください。なお、面接の際に希望分野を聴取しますので、「園芸農学コースの分野：果樹園芸学, 蔬菜園芸学, 花卉園芸学, 作物学, 家畜飼養学, 家畜生理学, 農業機械学；食農経済コースの分野：農業市場学, 国際食料経済学, 国際農業・食料経済学, 地域農業マネジメント分野, 国際農業開発論, 国際フードビジネス分野, 地域社会分野」の中から分野を選んで面接に臨んでください。

(注4) 地域環境工学科では、農業土木コースの募集は行いません。農山村環境コースのみとなります。

※ 履修コース及び分野の詳細については、農学生命科学部ホームページをご覧ください。  
<https://nature.hirosaki-u.ac.jp/>

## 2. 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は、令和8年4月1日とし、第3年次に編入するものとする。

## 3. 出 願 手 続

### (1) 出 願 資 格

出願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- ①大学を卒業した者、又は2年以上在学（見込み）し62単位以上を修得（見込み）した者
- ②短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和8年3月卒業見込みの者
- ③専修学校の専門課程（修業年限が2年以上でかつ課程の修了に必要な総時間数が1,700時間以上であること）を修了、又は修了見込みの者

基準を満たす専修学校の専門課程の目安は「専修学校の専門課程のうち専門士の称号が認められた課程」とする。

- ④高等学校、中等教育学校の後期課程又は特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者

### (2) 出 願 期 間

令和7年6月30日（月）から令和7年7月4日（金）までとする。

持参の場合は、平日午前9時から午後5時までとする。

郵送・持参とも、令和7年7月4日（金）午後5時までに必着のこと。

### (3) 出願書類等の提出先

〒036-8560

青森県弘前市文京町1番地 弘前大学学務部入試課 電話 0172-39-3122

#### (4) 出 願 書 類 等

出願書類の記入に当たっては、黒ボールペン（ただし、インクが消せるものは不可）を使用し、丁寧に記入してください。

	出 願 書 類	内 容	所定用紙No.
1	編 入 学 志 願 票	別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。裏面も記入すること。	No.1
2	写 真 票・受 験 票	別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。	No.2
3	「振替払込受付証明書」 貼付台紙	別添綴り込みの用紙に払込済の「振替払込受付証明書(大学提出用)」を貼付したもの。	
4	最終学校の成績証明書	修得単位が明記されたものを厳封のうえ提出すること。卒業見込みの者については、令和8年3月までに単位修得見込みの科目について、評価の欄に○印を付したものを提出すること。 出願資格①該当者のうち、大学に2年以上在学（見込み）し出願時に62単位を未修得の者は、成績証明書のほか、履修状況の分かる書類（62単位以上を修得見込みであることの証明書等）を提出すること。	
5	最終学校の卒業証明書 又は卒業見込み証明書	出身学校所定のもの。 大学出身者（短期大学除く）で2年次以上に在学中の者は在学証明書を、中途退学した者は退学証明書を提出すること。 専修学校の出身者は修了又は修了見込みの専修学校が、修業年限2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上であること及び当該専修学校を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。 高等学校等専攻科の出身者は、高等学校等が発行する修業年限2年以上で、かつ、文部科学省告示第63号又は第64号の基準を満たす課程を修了又は修了見込みであることの証明書を提出すること。	
6	編 入 学 願	別添綴り込みの用紙に必要事項を記入すること。 なお、自書に限る。	No.3
7	入 学 検 定 料	30,000円。入学検定料は別添綴り込みの「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込むこと。	No.4
8	受 験 票 送 付 用 封 筒	別添綴り込みの封筒（小さい方）に、 <u>自分の住所、氏名等を明記し、郵便切手410円分（速達分）を貼付したもの。</u>	No.5
9	あ て 名 票	別添綴り込み用紙2ヶ所に記入すること。	No.6

#### 4. 選 考 方 法 等

合格者の選考は、面接、出願書類（編入学願、成績証明書）を総合して判定する。

(1) 配 点 面接及び出願書類については、次のとおり点数化して評価する。

面接200点、出願書類100点 合計300点

(2) 選考方法

①面 接

複数の教員による個人面接を20分程度で行う。

志望理由、興味・関心がある研究分野などについて、質疑応答を行うことにより、「行動力」、「意欲」を評価する。また、3年次以降の履修に対応する「学力」を評価するための口頭試問を行う。

出願の際に提出された出願書類（編入学願、成績証明書）を面接時の参考資料とすることがある。

②出 願 書 類

編 入 学 願 本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などにより、「行動力」、「意欲」を評価する。

成績証明書 教養科目や専門科目の成績を精査することにより、3年次以降の履修に対応する「学力」を評価する。

### (3) 試験実施日時及び会場

月 日	時 間	試 験 内 容	試 験 会 場
令和7年8月19日(火)	10:00～14:00(※)	面 接	農学生命科学部

(※) 試験終了時間は予定より早くなる場合があります。

## 5. 合格者の発表

合格者の受験番号を次の日時・方法で発表するとともに、合格者に合格通知書等の書類を「あて名票」に記載された住所に郵送します。

電話等での可否に関する問い合わせには一切応じません。

発 表 日 時	発 表 方 法
令和7年8月27日(水) 午前10時(予定)	本学入試情報ホームページ ( <a href="https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/">https://nyushi.hirosaki-u.ac.jp/</a> ) で発表

## 6. その他の注意事項

- (1) 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
- (2) 単位認定については、本学農学生命科学部における教養教育科目及び専門教育科目の単位と見なし得るものについては、成績証明書等に基づき、本学部教授会が単位認定を行います。  
なお、認定単位が少ない場合には、第3年次に編入しても2年間で卒業できないことがあります。また、外国語については、編入学前に4単位以上修得しておくことを望みます。
- (3) 分子生命科学科及び食料資源学科では指定された科目の単位を取得することにより、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の任用資格が得られますが、その単位は編入後に履修・取得したものに限りします。
- (4) 国際園芸農学科では編入学後、教養教育の英語・多言語のうち4単位の取得が卒業に必要です。
- (5) 障がい等のある入学志願者の事前相談について  
病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮や措置を必要とする方は、令和7年6月6日(金)までに、あらかじめ入試課へ申し出てください。

弘前大学学務部入試課

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地

電話 0172(39)3122

## 7. 個人情報の取扱いについて

- (1) 利用目的  
志願者から提出された個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用します。
  - ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること
  - ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること
  - ③その他、教育・研究に関すること上記の利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。
- (2) EU一般データ保護規則(GDPR)の適用に係る手続きについて  
欧州経済領域(EEA)に在住する者は、EU一般データ保護規則(General Data Protection Regulation(GDPR))の適用を受けるため、別に手続きが必要となるので、事前に下記連絡先に連絡してください。

弘前大学学務部入試課

電 話：0172-39-3122 FAX：0172-39-3125

メール：nyushi@hirosaki-u.ac.jp

## 8. 農学生命科学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 1) 農学生命科学部が求める学生像

農学生命科学部では、農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけ、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍でき、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材を育成することを目的としています。この目的のため、「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育や、農学及び生命科学の各分野の専門教育に必要な基礎学力（高等学校の教科全般、特に理科、英語、数学）
- 農学及び生命科学を通して国際社会や地域社会に参画しようとする行動力
- 農学と生命科学に興味を持ち、これらの基礎的・専門的な知識を継続的に学びたいとする意欲

また、農学生命科学部の各学科は、それぞれ次のような学生を求めます。

#### 【生物学科】

- 生物学の遺伝子レベルから生態系レベルにわたる様々な基礎的知識や応用的知識を、実社会への参画をみすえ、積極的に身に付けようとする行動力を持つ人
- 生物学に強い興味を持ち、動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象の仕組みや生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

#### 【分子生命科学科】

- 分子レベルでの生命現象の理解や知識を活用した産業（例えば、医薬品、食品、化学工業など）及び学問分野で活躍しようとする行動力を持つ人
- 生命現象の仕組みや機能に興味を持ち、高校で学習した生物や化学の知識を基に分子レベルでこれを理解し、さらに追求する意欲のある人

#### 【食料資源学科】

- バイオテクノロジー、食品科学、作物生産環境について目的意識を持って学ぶことができ、これらの研究を積極的に行うことができる行動力を持つ人
- 学びの中から様々な課題を自ら見だし、解決する力を養い、学修後にそれを食料生産や食品産業に役立てようとする意欲のある人

#### 【国際園芸農学科】

- 地域農業の活性化や国際的な展開に取り組む行動力を持つ人
- 農業生産の技術とその原理を学ぶことに意欲のある人
- 食と農の経済を学ぶことに意欲のある人

#### 【地域環境工学科】

- 自立した農業土木技術者として、社会的責任を自覚し、自主的継続的に学修し、多様な人々と協働し、国内外の地域社会に参画していこうとする行動力を持つ人
- 数学や物理学などの自然科学に関する工学基礎知識を身に付け、水・土・農業土木関連施設や農村・山間地に関わる総合的な工学知識を習得した農業土木技術者を目指し、国内外の地域社会の問題解決や発展に貢献しようとする意欲のある人

### 2) 入学志願者に求める学習の取組

- 農学及び生命科学の各分野の教育を受けるために必要な基礎学力だけではなく、論理的思考力、読解力、記述能力などの修得が必要です。
- 自分自身の考えを持ち、様々な課題に立ち向かい、解決する行動力を身に付けておく必要があります。
- 実験室のみならずフィールドでの学習・研究活動を自主的かつ積極的に取り組む意欲が必要です。

### 3) 入学者選抜の基本方針

農学生命科学部では学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的な評価方法により別表のとおり入学者を選考します。



【別表1】 入学者選抜方法と重点評価項目

選抜区分	選抜方法	目的と概要	重点評価項目		
			学力	行動力	意欲
一般選抜 (前期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
一般選抜 (後期)	共通テスト	高等学校卒業レベルの学習の達成度を評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○		
	個別学力検査				
総合型選抜Ⅰ	小論文	本学部のカリキュラムに基づく学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	個人面接				
編入学入試 (第3年次)	個人面接	本学部のカリキュラムに基づく専門科目の学習を主体的に進めていくための資質・能力や適性、意欲・関心などを評価するという観点から、左記の選抜方法により総合的に評価して選抜します。	○	○	○
	編入学願				
	成績証明書				

注) 総合型選抜Ⅰの個人面接では、調査書及び志望理由書を参考資料とします。

【別表2】 入学者選抜方法の内容と評価要素

選抜方法	選抜区分	選抜内容と評価要素
小論文	総合Ⅰ	農学や生命科学などに関連するいくつかのテーマについて論述させます。論理的思考力、読解力、記述能力などにより、「学力」を評価します。
個人面接	総合Ⅰ	志望理由、興味・関心がある研究分野、入学前の学習などへの取組状況、将来への展望などに関する総合的な質疑により、「行動力」及び「意欲」の評価を行います。総合型選抜Ⅰでは、調査書と志望理由書をこれらの評価の参考資料として用います。
	編入学	また、総合型選抜Ⅰでは、基礎学力に関する試問において、学部のカリキュラムに基づく学習を進めるために必要な「学力」を評価します。 なお、編入学入試では、試問により、3年次以降の履修に対応するために必要な「学力」を評価します。
編入学願	編入学	本学部に対する理解、専門分野に対する強い興味・関心、主体的に学び続けようとする積極性などから、「行動力」及び「意欲」を評価します。
成績証明書	編入学	教養科目や専門科目の成績により、3年次以降の履修に対応する「学力」を評価します。

## 9. 入 学 者 案 内

### (1) 入 学 手 続

#### ①入学手続の方法

入学試験に合格した者は、郵送又は持参により、入学手続を行ってください。

期日に手続きを完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

○郵送の場合 … 令和7年9月29日（月）から令和7年10月3日（金）午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。郵送先は学務部入試課になります。

○持参の場合 … 令和7年9月29日（月）から令和7年10月3日（金）の平日午前9時から午後5時までに、必要書類一式を学務部入試課まで持参してください。

#### ②入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

I. 合格通知書	合格発表時に送付します。
II. 誓約・保証書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。 2人分の印鑑（本人と保証人の分）が必要になります。
III. 入 学 料 282,000 円	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）になります。納付期限は、前期分5月31日、後期分10月31日となりますが、希望により入学料と併せて前期分又は年額（前期分＋後期分）を前納することができます。

※入学時までに入学科及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

### (2) 入学料及び授業料の減免について

日本学生支援機構の給付奨学生の方又は多子世帯支援対象者の方は、入学料及び令和8年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

本学入学前の在学学校において、すでに日本学生支援機構の給付奨学生に採用されている方又は多子世帯支援対象者の方は、本学入学後も引き続きその身分を継続できます。

ただし、条件によっては継続できない場合もありますので、下記の「問合せ先」に連絡の上、詳細を確認してください。

なお、本学入学前の在学学校において日本学生支援機構の給付奨学生でない方又は多子世帯支援対象者でない方であっても、本学入学後に日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込み、給付奨学生又は多子世帯支援対象者に採用された場合は、入学料及び令和8年度前期の授業料が支援区分に応じて減免されます。

一連の手続きに関する詳細は、合格者に送付する文書に記載しています。

※日本学生支援機構の給付奨学生に申し込むためには、「家計の経済状況に関する要件」、「国籍に関する要件」、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」など、いくつかの要件をすべて満たしている必要があります。日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込む方は、日本学生支援機構のホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）の「奨学金の申込資格や支給額、申込方法を知りたい」

→ 「申込資格や採用基準を満たしているか知りたい」 → 「進学後に在籍している大学等で申し込みたい方」 → 「給付型奨学金」 → 「申込資格」を参照の上、「在学採用」の認定要件を満たしているか否かを必ず確認してください。

なお、「大学等に進学するまでの期間に関する要件」又は「国籍・在留資格に関する要件」を満たしていないために日本学生支援機構の給付奨学生に申し込めない方であっても、かつ、経済的に困難な家庭の学生を対象とした本学独自の経済支援事業（弘前大学入学料及び授業料減免事業）があります。選考に際しては、日本学生支援機構の給付奨学生の「家計の経済状況に関する要件」を準用します。

#### 〈重要事項説明〉

日本学生支援機構の給付奨学生の「在学採用」に申し込む方、及び弘前大学入学料及び授業料減免事業に申請した方は、本学から「授業料等減免結果通知書」が届くまでは、**絶対に、入学料及び令和8年度前期授業料を支払わないでください。**

本学から送付される「授業料等減免結果通知書」を受け取る前に、入学料及び令和8年度前期授業料を支払ってしまった場合、入学料及び授業料の減免申請は無効となりますので、十分に注意してください。

**(3) 日本学生支援機構奨学金（貸与）※卒業後に返還が必要**

学業・人物ともに優秀であって、経済的理由によって修学が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与されます。

募集期間は、4月上旬から下旬までですが、募集に当たり説明会も予定しています。詳細は入学者案内又は掲示で確認してください。

**(4) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）と学研災付帯賠償責任保険（学研賠）**

大学の教育研究活動中（正課・学校行事・大学が認めた課外活動）及び通学中の不慮の災害事故に対する補償制度です。

全国的規模の互助救済制度のため非常に安価となっています。特に実習・実験・学外研修等に参加する予定の学生は、積極的に加入してください。

また、「学研災付帯学生生活総合保険（付帯学総）」という、学生生活全般に補償範囲を広げた、学生教育研究災害傷害保険（学研災）に上乗せできる保険もあります。

詳細は、入学手続き時に配付される大学のパンフレットを参照してください。

**(2)～(4) の問合せ先**

弘前大学学務部学生課 生活支援グループ

電話：0172-39-3117

時間：平日9：00～17：00

（ただし、令和8年2月24日、25日及び3月11日、12日を除く）

※令和8年2月24日、25日、3月11日、12日は一般選抜の準備及び実施のため不在となります。窓口での対応及び電話照会ができませんので注意してください。

**(5) 学生寮入寮希望調書等の請求方法及び受付期間**

令和8年1月頃に本学ホームページに「入寮案内」が掲載されますので、必要書類や受付期間などはそちらをご確認ください。

もしご覧になれない場合は、下記の間合せ先までご連絡をお願いします。

○ホームページURL

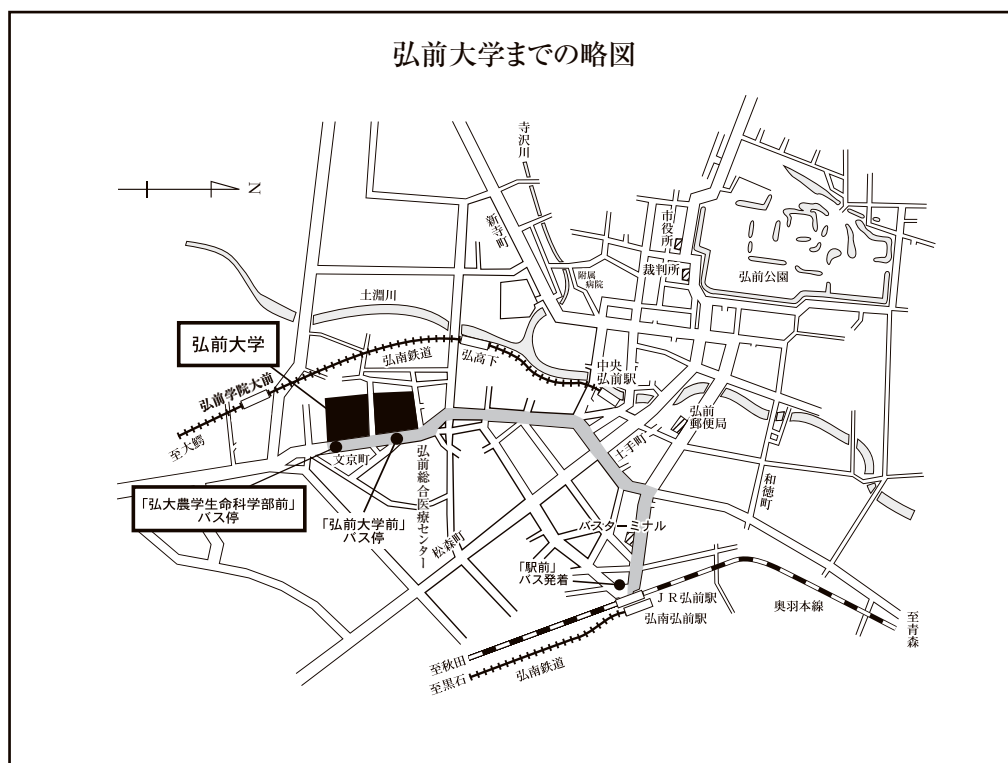
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/campuslife/consultation/gakuryo/>

○間合せ先

弘前大学学務部学生課 学生支援グループ

電話：0172-39-3107 FAX：0172-39-3119

# 試験場のご案内



- ① 弘前駅から農学生命科学部まで（徒歩25分）
- ② 弘前駅前バス停より，弘南バスを利用。（学園町行・小栗山行・狼森行のいずれかを  
利用し，弘前大学農学生命科学部前下車。）
- ③ タクシーを利用。（駅前より約10分）
- ④ 自家用車での来学は固くお断りします。

## 試験場（農学生命科学部校舎）等の略図

